

## 丹波竜 10 年の歩み

平成 18 年 8 月 7 日  
足立冽さんと村上茂さんが化石を発見

8 月 10 日・9 月 27 日～29 日  
県立人と自然の博物館試掘調査  
2 回の試掘で 10 数点の化石を発見。

平成 19 年 1 月 3 日  
県立人と自然の博物館が大型植物食恐竜  
「丹波竜」の化石発見を発表。

1 月 22 日 第 1 次発掘調査開始  
脳函や尾椎などを発見。化石は竜脚類のテ  
ィタノサウルス形類と判明。

4 月 1 日 市役所に「恐竜を活かしたまち  
づくり課」発足。

5 月 18 日 丹波市・兵庫県・県立人と自  
然の博物館で丹波竜活用に向けて協定締結。

11 月 20 日～翌年 3 月 30 日  
第 2 次発掘調査開始 環椎や肋骨などを発  
見。肋骨は並んだ状態で発見された。

12 月 1 日  
丹波竜化石工房開設（山南住民センター）

平成 20 年 9 月 25 日  
丹波竜のマスコットキャラクター決定。  
愛称は「ちーたん」。

12 月 2 日～翌年 3 月 24 日  
第 3 次発掘調査開始  
獣脚類・鳥脚類の歯の化石を発見。

平成 21 年 12 月 11 日～翌年 3 月 25 日  
第 4 次発掘調査開始 カエルなど小型の脊  
椎動物、卵殻化石を多数発見。

平成 22 年 11 月 10 日～翌年 2 月 20 日  
第 5 次発掘調査開始 竜脚類の胸椎、テリ  
ジノサウルス類の歯の化石を発見。

平成 22 年 12 月 4 日  
丹波竜化石工房「ちーたんの館」オープン

平成 23 年 12 月 11 日～翌年 1 月 15 日  
第 6 次発掘調査開始 竜脚類の歯やカエルの  
化石を発見。

平成 26 年 8 月 丹波竜を新種として命名  
「タンパティタニス・アミキティアエ」。

平成 27 年 3 月 丹波竜の里公園整備  
丹波竜実物大モニュメント完成。

10 月 小型獣脚類か鳥類とみられる卵化  
石を発見。

平成 28 年 4 月 29 日 ちーたんの館に丹波  
竜全身骨格模型の展示を開始。



丹波竜実物大モニュメント

平成 18 年 8 月 7 日、2 人の市民が発見した 30 センチほどの肋  
骨の化石。これが、約 1 億 1 千万年前に生きていた国内最大級  
の植物食恐竜「丹波竜」との出会いです。はるかな時を超えた  
奇跡との出会いから 10 年。年間 4 万人を超える訪問者、訪れる  
人を笑顔にしたいと始まったまちづくり。関わる人と地域が奇  
跡を紡ぎ、輝いた軌跡を追います。

問恐竜・観光振興課 ☎ 77・1887

# 特集 丹波竜化石発見10年 奇跡との出会い

世界が目目する存在

丹波竜といえば「大きい  
恐竜」「首が長い」「山南地  
域で発見された」。どれも  
正解です。では「世界的に  
貴重な存在」であることは  
ご存じですか。

### 丹波竜とは

丹波竜は体長約 15 メートルの国内最大級の植物食恐  
竜。竜脚類という、4 足歩  
行で歩く、首の長い恐竜  
の一種です。山南町上滝の  
川代溪谷で、足立冽さんと  
村上茂さんが発見。篠山層  
群という約 1 億 1 千万年前  
（白亜紀前期）の陸地の地層  
から発掘されました。

正式な学名は、タンパ  
ティタニス・アミキティアエ。  
タンバは発見地「丹波地  
域」、ティタニスは「女の巨  
人」という意味でギリシャ  
神話から、アミキティアエ  
は発見者 2 人の「友情」を  
意味しています。国内 5 例  
目の新属新種と認定されま  
した。

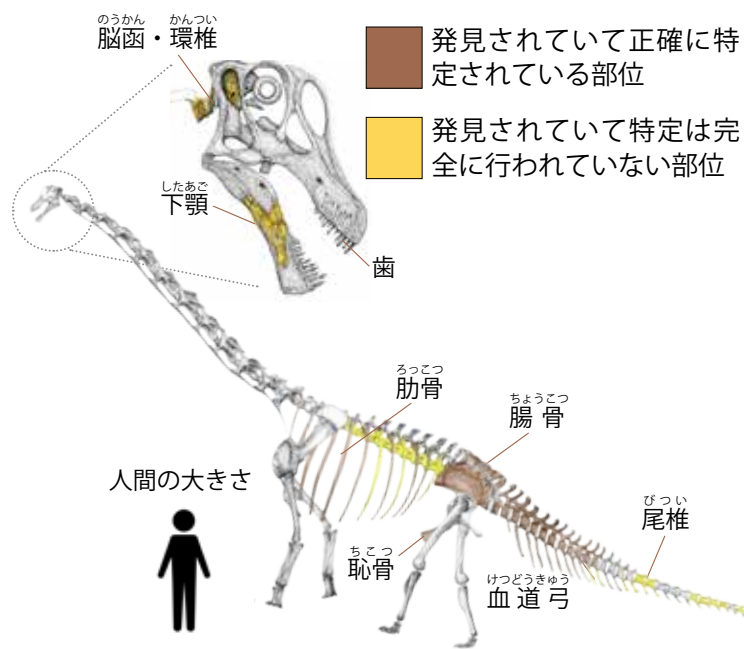
世界的に貴重な存在

丹波竜は、竜脚類では保  
存されにくい頭骨の一部で  
ある脳函が見つかっていま  
す。脳函は脳をおさめてい  
た部分で、系統や生態を考  
える上で非常に重要な部分  
です。また、丹波竜は複数  
の化石が連なった状態で発  
掘されました。尻尾の部  
分にあたる尾椎や血道弓は概  
ね元の位置関係を維持し、  
肋骨は並んで発見されまし  
た。どちらも国内初です。



産出した血道弓・尾椎とその周辺  
（提供 人と自然の博物館）

## 丹波竜 化石の産出部位





かずひろ  
多田和博さん (54)  
かいと  
快冬さん (6)  
春日地域在住

恐竜が大好きな快冬さん。ちーたんの館で動く恐竜ヴェロキラプトルを見たときは、感激でその場から動かなくなってしまったほど。

孫の快冬が恐竜に興味をもったきっかけは恐竜をモチーフにした映画を見たことです。今では家族のだれよりも恐竜のことに詳しいです。丹波竜化石発見地の施設、元氣村かみくげで恐竜検定をしていると聞いて、二人で挑戦しました。快冬が丹波竜の正式名称をスラスラ答えるのを聞いて、さすがに家族も「ほんまかあ」と半信半疑。もちろんあつてましたよ。快冬がきっかけで恐竜を勉強し始めた私なんか、とても敵わない。

## 喜ぶ顔を見るのが幸せ

丹波竜の化石発見地は近くて、何度も行けるのが魅力ですね。今度、元氣村かみくげで化石発掘体験をしようと計画中です。好きなことに夢中になって、喜ぶ顔を見るのが何より幸せです。気になっているのは、発掘調査が止まっていること。子どもってどんな学びたいんですね。発掘が止まると、発見が減ってしまうと、どうしても興味が薄れてしまいます。これは、大人も同じかもしれませんね。いつまでも学び続けられる場所であってほしいと思います。



# 奇跡との出会いを楽しむ！

丹波竜が発見された地層、丹波市山南町から篠山市に広がる篠山層群。丹波竜以外にも様々な化石が発見されました。研究が進み、平成26年から次々と学名が発表されました。長年の研究成果が世界に認められました。

丹波竜などの研究が進むにつれ、市内外で丹波竜や篠山層群に興味をもつ人が増え始めました。生き物の進化や命の神秘を考え、当時のようすを想像する。強そうな姿に憧れたり、将来の夢を抱いたり楽しみ方は人それぞれ。丹波竜との出会いを楽しむ人たちの声を聞きました。

## 丹波竜と同じ時代を生きた恐竜たち

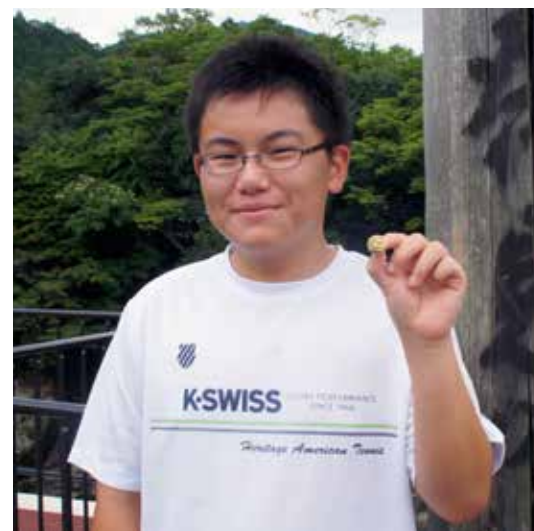


© Takashi Oda/Tamba city

丹波竜が発見された篠山層群の魅力はなんと言っても貴重な化石がたくさん見つかったこと。丹波竜だけではなく、カエルやトカゲの化石、哺乳類化石が見つかっています。恐竜の化石に比べるとどれも小さなもの。約1億1千万年も壊れず、残っていることに驚きとロマンを感じます。すべて新たな発見として学名が付き、一層感激しましたね。

## 夢は丹波で化石発掘！

元々はアンモナイトが好きで化石の勉強を始めた。途中で小型恐竜が好きになり、今では化石全般が好きです。丹波竜化石発見地からは草食恐竜や肉食恐竜、



じゅんき  
竹岡純希さん (14)  
南あわじ市在住

元氣村かみくげで行われた、恐竜検定で金バッチをゲットした竹岡純希さん。環境の問題が難しかったそう。

丹波竜を発見したのは、30年ほど続いている篠山層群の地層観察の最中でした。観察を始めるきっかけは、篠山鳳鳴高校で教師をしていた頃、貝や昆虫の住み穴の化石を発見したこと。大学時代からの友人、村上君を観察に誘って3カ月で恐竜の化石を発見しました。私は化石を自然が残してくれた遺産だと思っています。大地が、約1億1千万年守り続けた丹波竜。市民みんなの学びのきっかけになればと思っています。ただ、専門的な話をすると一気に化石が遠い存在になってしまう。

## 化石を学びのきっかけに

それじゃあ意味がない。恐竜や地層の話をするときは、分かりやすく面白い解説を心がけています。「猫など肉食動物の目は顔の前面にある。馬などの草食動物の目は顔の側面にある。恐竜も同じなんです」とかね。動物は、太古から生き残るために進化をしているのです。そして、自然はどんな動物にも平等です。巨大な丹波竜にも、そばで見つかったカエルにも、一つしか命を与えなかった。化石は理科の教材として、また命の尊厳や神秘を学ぶ教材として役立つものだと思います。



きよし  
足立冽さん (73)  
柏原地域在住

丹波竜化石の発見者の一人。地学散歩がライフワーク。篠山層群の魅力を伝えたいとパネル展示会や講演会を開くなど活躍中。



# 奇跡との出会いを 活かす！

丹波竜化石発見地のほど近くに、訪れる人をもてなす「元気村かみくげ」という施設があります。

上久下地域の人たちは施設ができる前から発掘現場を訪れる人を温かく迎えてきました。「来てくれた人が楽しめるように」という思いは今も変わりません。

元気村かみくげで、輝く笑顔で活躍する人たちの素顔に迫ります。

1\_ 恐竜模型フィギュア塗装体験のようす 2\_ 丹波竜の里公園のすべり台 3\_ 元気村かみくげ限定オリジナル缶バッジをゲット 4\_ 丹波竜化石の発見地に向かう道にも楽しい工夫 5\_ 地層に埋まった化石を捜します 6\_ 発掘体験道場で見つかった骨の化石 7\_ 化石がないか、じっくり観察 8\_ 恐竜グッズの販売は地域の中高生が担います 9\_ 化石発掘体験に夢中の親子



えつみ  
**横内悦実さん (66)**  
山南地域在住

元気村かみくげで化石発掘体験道場指導員として活躍中。参加者を飽きさせない話術もプロ級。

元気村かみくげの化石発掘体験道場で活動しています。具体的な仕事は、参加者の人たちが化石を発見する手伝いをする事。

まずは、参加者に丹波竜が発見された付近の石を渡して、割ってもらおう。割れた断面に周りとは違う色をしている所がないかよく観察。化石は断面の小さな違いを観察することで見つかります。その観察のコツを教えたり、化石かどうかの判断をしたりしています。

笑顔で「見つけたー」走ってくる子どもを見るのは最高です。反対に見つからない時は、さびしい気持ちになります。

## 最高のやりがいは子どもの笑顔

す。遠い所から来てくれる子どもも多いので、やっぱり見つけて欲しい。どうすれば見つけてもらえるのか、どう声をかけたらいいか、などを日々研究中です。

何度も来てくれる市外の子どもたちがいる一方で、市内の子たちは意外と少ないんです。丹波市の宝にもっと触れて欲しいし、たくさんの人に関わって欲しい。発掘の時点から、市民ボランティアが協力して研究を支えてきたという誇りを次代へつなげたい。

夢は発掘再開。子どもたちの笑顔を糧にがんばります。

僕は、恐竜発見当初の記者会見で「地域おこしに役立てたい。たくさんの人に来てほしい」と口にししました。退職し、久しぶりに帰った故郷は商店街もさびしくなっていました。地域のために何かしたいと思っていた矢先の発見でした。

発掘が始まり、たくさんの方が訪れてくれる。来てくれる人を温かく迎えたいと思って、いたとき、駐車場、トイレの整備が開始されました。案内ができるように恐竜時代の勉強も始めました。おもてなしと地域の元気を両立する方法を模索し、4年前に、企業組合「元

## たくさんの喜びくれた恐竜

恐竜は訪れる人、地域の元氣、たくさんの喜びをくれました。しかし、発掘は休止。やはり新たな発見なくして人の興味は引けない。昨年、人と自然の博物館の協力を得て試掘を行い、卵の化石が発見されました。今後の展開に期待しています。

今後は、市民の人たちに恐竜の魅力を伝えたいですね。丹波竜は市の宝なんですから。



しげる  
**村上茂さん (71)**  
山南地域在住

丹波竜化石の発見者の一人。上久下地域自治協議会会長。発見者として解説をするため日々地学を勉強中。



interview — せつこ  
**前田節子さん (67)**  
山南地域在住  
元気村かみくげの食堂で活躍中。  
発掘調査ボランティアとして、  
発掘にも参加しました。

発掘の頃から、丹波竜に関わっています。あれから10 年も経ったんですね。

元気村かみくげができる前からお客さんにおもてなしを始めました。何度も来てくれる人の顔は覚えていますよ。

この仕事の魅力は人との出会い。貴重な出会いだからこそ、来てもらった人にゆったり落ち着いて欲しい。来てよかったなと思ってもらえるのが理想。恐竜を見て終わりではなくて、もう一度訪れたいと思ってもらいたい。仲間と一緒に日々工夫しています。



voice — あゆと  
**原田歩朋さん (8)**  
山南地域在住

「発掘体験をしたけど、化石が見つからなかった。絶対にもう一回行きたい」と歩朋さん。家族で丹波竜の里公園にも行って遊んだそうで、その時に撮った写真は宝物だと話してくれました。



## 元気村かみくげ

丹波竜化石発見地に一番近い、駐車場にある施設です。化石発掘体験、恐竜関連グッズの販売、食事の提供、地元野菜の販売をしています。隣接する丹波竜の里公園には、丹波竜の実物大ミニチュメントや恐竜の滑り台があり、思う存分遊べます。

## 化石発掘体験

丹波竜化石発見地付近の石から化石を発見する体験です。専門の指導員がついて丁寧に教えます。

- 開催日 / 毎週土・日・祝日
- とき / 午前 10 時～午後 4 時（1 回 1 時間以内）
- ところ / 山南町上滝 1913 番地 1
- 参加費 / 300 円
- 園上久下地域づくりセンター ☎ 78 - 0001  
（木・土・日は休館日）
- ※食堂・恐竜グッズ・野菜の販売も同営業日です。



## 丹波竜化石工房「ちーたんの館」

丹波竜や篠山層群で発掘された化石について学べる館。中に入ると、全長約 15 m の丹波竜の全身骨格模型が来館者をお出迎え。精巧な骨格模型や発掘現場を再現したコーナー、パネルに触って学べるコーナーも。ワークショップも開催中！

- 開館時間 / 午前 10 時～午後 5 時
- ところ / 山南町谷川 1110 番地
- 休館日 / 月曜日（祝日の場合は翌平日）
- 入場料 / 大人 200 円小中学生 100 円
- 園丹波竜化石工房「ちーたんの館」 ☎ 77 - 1887

### voice —

恐竜が大好きな城田兄弟。「8 月はちーたんの館に 2 回行ったよ。昼間とナイトミュージアム！」と龍之介さん。侑輝さんは「丹波竜のこともっと詳しく勉強したいな」と話してくれました。



あゆま  
城田侑輝さん (8) 右  
りゅうすけ  
龍之介さん (5) 左  
氷上地域在住

# 奇跡との出会いを 学ぶ！

丹波竜や篠山層群について学べる施設や体験イベントに行ってみませんか。ワークショップや化石発掘体験など、ここでしかできない経験がたくさん。丹波竜や篠山層群に詳しくなること間違いなしです。

## ちーたんの館イベント情報 information —

- 恐竜ワークショップ 講師 / 徳川広和氏  
とき / 11 月 27 日 (日)  
午前 : ティラノ頭部復元模型体験  
午後 : 恐竜フィギュア塗装体験
- 化石クリーニングセミナー & 発掘体験道場  
講師 / 池田忠広氏 (県立人と自然の博物館研究員)  
とき / 9 月 25 日、10 月 23 日、ほか 2 回  
午前 : 化石クリーニングセミナー  
午後 : 元気村にて化石発掘体験道場
- 丹波竜フェスタ 2016  
とき / 12 月 11 日 (日)  
ところ / 山南住民センターやまなみホール

# 奇跡との出会いの その先へ

約 1 億 1 千万年前に生きていた丹波竜との奇跡の出会いから 10 年。たくさんの方が、丹波竜との出会いを楽しみ、まちづくりに活かしてきました。丹波竜をきっかけに人との出会いが生まれ、元気が生まれました。生きがいを得て輝く人、将来の夢に向かって学ぶ人、丹波竜は多くの人の心を動かしました。

丹波竜や篠山層群の研究はこれからも続きます。しかし、現在発掘は休止しています。多くの化石発掘現場は、100 年単位で研究が進みます。長い研究期間の中で、休止はわずかな数年のことかもしれません。この地で発掘をすることを夢見て、一生懸命に学ぶ子どもたち、丹波竜への関心を薄れさせてはいけなさと頑張る人たち。その存在を知ると、発掘再開を願う気持ちがわいてきませんか。

まずは、市の宝にふれてください。知ってください。その魅力のとりこになるかもしれません。丹波竜は、はるかな時を超えて私たちに会いに来てくれた、奇跡の存在なのですから。

# 専門家に聞く 篠山層群の研究のこれから



interview — 県立人と自然の博物館  
主任研究員三枝春生さん

丹波竜は国内で最も情報量が多い竜脚類の化石。多くの恐竜は、たった一本の骨から復元図を作成する。

丹波竜は 100 近い骨から復元されている。丹波竜化石工房で展示中の実物大の骨格の復元模型も非常に精度がよい。

篠山層群には丹波竜のような貴重な化石が多数眠っていると考えられる。

限られた予算の中で、優先順位を付けながら進めたい。



世界的古生物学者のカリー氏も篠山層群を宝の山だと評価した。